

なくそう海の事故

ルールを守って
楽しく遊泳しましょう

海での水難を防ぐための注意点

管理された海水浴場を利用する

海水浴場以外の海岸は、急に深くなっていたり、岸から沖への海水の流れ（離岸流）が発生する場所があり危険です。管理された海水浴場を利用しましょう。

事前に天気予報を確認する

お出かけ前に天気予報を確認し、海が荒れていたり、荒れる恐れが予想されるときは、遊泳や釣りは中止しましょう。

子供から目を離さない

子供は危険察知能力が低く、小さな波でも思いがけず足をすくわれ溺れることがあります。また、波打ち際にいても波にさらわれ沖に流されることもあるので、海に入ってなくても油断は禁物です。

体調不良時や飲酒時は泳がない

体長が優れないときや睡眠不足等で疲れているときは、遊泳や釣りは控えましょう。特に、飲酒後は判断力、集中力や運動能力が低下し、大変危険ですので、絶対にやめましょう。

海上における事件・事故の緊急通報用電話番号『118』を海上保安庁が運用しています。海の事故で救助を求める際は、携帯電話のGPS機能を『ON』にしたうえで遭難者自身が118番に直接通報することにより、海上保安庁が正確な位置を受信することができるので、迅速な救助につながります。



江田島警察署
マスコット
キャラクター
「オリフーくん」

海の事故に遭遇したときは、救助機関に早期に通報して救助を求める必要がありますが、携帯電話を水没させてしまい通報できないことがあるため、ストラップ付き防水パックを利用して、持ち歩くようにしましょう。